



学校だより 5月号

市田っ子

平成31年4月24日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

「令和」の時代を担う子供たち ～くまがやラグビー・オリパラプロジェクト～

校長 山田 明

4月27日（土）から始まる10日間のGWが終わると、元号が「平成」から「令和」となっています。本校の子供たちは、「平成」に生まれ、「令和」の時代を生き抜く人材として日本の未来を背負う役割を担っています。

これからの時代は、今まで以上に科学技術が加速度的に発達し、高度情報化社会・グローバル化社会となるとともに、今まで経験したことのない少子高齢化社会が訪れます。こうした状況を踏まえ、今の子供たち一人一人には、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

そこで、熊谷市では、全小中学校において《くまがやラグビー・オリパラプロジェクト》に取り組み、「学力日本一」を目指しています。本校では、「総合的な学習の時間」を中核に、教科横断的な教育活動を展開することにより、「知識・技能」だけではなく、「知っていることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」などの資質・能力を育て、一人一人の学力を伸ばします。具体例の一つは、今年9月29日（日）のラグビーWカップ応援観戦に向け、対戦国のことの調べ学習を通じて、判断力や表現力・学びに向かう力などを育てていきます。

結びに、学期が始まり早1か月が過ぎようとしています。子供たちは、保護者の皆様をはじめ、スクールガードリーダー・安全見守り隊・地域の方々に見守られ安全に登下校ができています。皆様方の温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。



生活目標について

5月学校生活目標

「よくできた」目標値90%以上

口をとじて
話す人の目を見て



相手にひざを向け、
話を聞きます。



4月は「あいさつ」について全校で考え、実践しました。子供たちから【朝、学校に来たときにあいさつをすると「今日も一日頑張ろう」という気持ちになってパワーももらえるし、自分も友達の気持ちを変えてあげられる。】【あいさつは、相手の存在を認める大事なことだと思う。】という声も聞こえてきました。いつでも、どこでも、あいさつができる市田っ子を目指して、今後とも実践を続けていきたいと思います。

本校には、各地区に安全見守り隊が組織され、77名の皆様が子供たちの安全を見守ってくださっています。そして、同時に、子供たちの元気なあいさつと日々の成長を何より喜んでくださっています。子供たちがやさしく、元気に挨拶ができ、情緒が安定しているのは、保護者の皆様の愛情に加え、心持ちを一つにして支えてくださる地域の皆様のお力添えの大きさも感じます。ありがとうございます。

5月の目標は、「相手にひざを向け、話を聞きます。」です。学習の基本は、まずは「話を聞くこと」です。そのためには、「口をとじて」「話す人の目を見て」しっかり聞くことができるよう全校で取り組んでまいります。